

# Global Design Lecture & Seminar



**Global Design Lecture 14:55-15:50** [講演：日本語]

**「バーチャルリアリティは人間の能力をどこまで拡張できるか？」**

**谷川 智洋**（大学院情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻  
・特任准教授）

バーチャルリアリティは、我々自身の感覚を通して得られる以上の体験ができるようにする技術です。例えば、遠くの場所やミクロの世界を計算機内に作り出すことで、人間の能力では体験できないような体験をすることが可能になります。これは人間の感覚を拡張していることに他ならないですが、VRを用いて計算機と人間をより密接に結びつけることで記憶や行動の補助など様々な人間の能力の拡張までも可能になりえます。最新の研究を紹介しながらその可能性について紹介します。

**Global Design Seminar 15:50-16:40** [講演：日本語]

**「ソフトウェアによる物理ネットワーク自動テストの考え方と実装例」**

**萩原 学**（新日鉄住金ソリューションズ株式会社技術本部 システム  
研究開発センター システム基盤研究部・主務研究員）

SDxやIaCなど、ソフトウェアによってシステム(システム基盤)を操作するという考え方が一般的になってきました。複雑な計算機リソースをソフトウェアで操作してサービスを実現すると、今度はそのシステムをどうテストするかが重要になります。今回は、テストに物理構成要素の操作が含まれて自動化が難しい、物理ネットワークをテスト対象とします。「ネットワークのテスト」をソフトウェアによってどう自動化可能になるか、デモを交えながら紹介します。

**6月15日（木） 14:55～16:40**

**工学部3号館2階 GCLラボ**

**GCLプロジェクトインキュベーション機構 (pim@gcl.i.u-tokyo.ac.jp)**